

第5回 東アジア U-22 ハンドボール選手権 試合結果・戦評報告書

競技日	7月1(土)	試合番号	M8		
種別	男子	会場	花巻市総合体育館		
Aチーム名			Bチーム名		
韓国			台北		
得点合計	小計		小計	得点合計	
30	14	前半	14	26	
	16	後半	12		

戦評

前半、台北（TPE）ボールのスローオフで試合開始。試合序盤から、両チーム共にDFラインを高め位置取り、アグレッシブなDFでボールを奪おうと仕掛けてくる展開になった。GKのナイスセーブやDFの組織的な守りが機能し、ロースコア一の立ち上がりとなった。韓国（KOR）は、97番のKIM選手のステップシュートや力強い1対1で徐々に試合の主導権を握るも、対するTPEも10番YANG選手の速攻やロングシュートで応戦、14対14の同点で前半を終えた。

後半開始早々、TPEはDFシステムを変え、ハーフコートマンツーマンでKORオフェンスのミス誘おうと、より積極的なDFを仕掛けてきたが、KORも冷静なパスワークでノーマークを作り、13番PARK選手のサイドシュートや88番CHOI選手のロングシュートで着実に加点した。TPEチームもこの試合のMVPに選ばれた7番WU選手の攻守にわたる活躍、スカイプレーなどの変幻自在な攻撃で追いつき、1点を争う好ゲームとなった。最後は、疲れの出たTPEチームに退場者が重なり、30対26の4点差でKORチームが勝利した。なおKORチームの66番KIM選手がこの試合のMVPに選出された。

